

◆ 一日も早く受験生になろう！

2024年実施 大学入学共通テスト 文字数									
教科	文字数	昨年比	マーク 得点数	試験 時間	解くのに 必要な時間	500文字/分で 読んだ場合	1200文字/分で 読んだ場合	※SRJ調べ	
国語	国語	約24,135	約75%	38	80	48	48分16秒	20分07秒	
	世界史B	約17,154	約1,656	33	60	36	34分18秒	14分17秒	
地理歴史	日本史B	約15,612	約1,898	32	60	36	31分13秒	13分01秒	
	地理B	約11,988	約612	30	60	36	23分58秒	9分59秒	
公民	現代社会	約19,673	約543	31	60	36	39分20秒	16分23秒	
	数学ⅠA	約7,525	約915	47	70	42	15分03秒	6分16秒	
数学	数学ⅡB	約5,484	約1,036	54	60	36	10分58秒	4分34秒	
	物理	約7,540	約360	22	60	36	15分05秒	6分17秒	
理科	化学	約11,675	約2,785	31	60	36	23分21秒	9分43秒	
	生物	約11,813	約1,977	26	60	36	23分37秒	9分50秒	
	地学	約8,172	約588	27	60	36	16分20秒	6分49秒	

殆どの生野生は大学受験の際、大学入学共通テスト(以下、「共テ」)を受けていますが、上表のとおり、数ⅠAの文章量はセンター入試の5倍(7,525字)、国語は120%(24,135字)になっています。

共テで求められる力は、制限時間内に文章・問題を読解し解答する、「速読プラス精読」の力です。つまり、「わかった」「理解した」という程度のレベルでは、ダメだということです。速くかつ正確に文章・設問文を読解して解答し、さらに、2日間にも及ぶ長丁場を乗り切る集中力のスタミナ(持久力)も必要なのです。

この力を身につけるには、勉強を積み重ねて、地頭(じあたま)を鍛えるしかありません。しかも3年次から本格的に上述のレベルに見合う受験勉強をスタートさせるためには、今からこのスピード力を養成する必要があります。この力はすぐにはつきません。長い期間と持続学習能力が必要です。

◆ 休日自習/講習の活用を！

上記のみなさんに求められている力を養い、地頭を鍛える場として、ぜひ「休日講習/自習」を活用してください。他の人への迷惑にならないように配慮してもらえれば、入退室は自由です。

特に、講習については、79期生全員が持っている「基礎現代文」「プログレス古典総演習」を使っておこなっていますので、共テに必要な

な学力・技術を養成するだけでなく、定期考査の範囲の試験勉強も計画的に進めることができます。

今回の「79期 休日自習/講習」は、第8回土曜学習日の11月30日(土)の午後、至誠ホールにて、12:00～自習(12:45までは昼食可)、講習は14:15～16:00、白紙テスト・副詞/複合語/返読文字/句法①～⑤、「プログレス古典総演習」古文12(後期中間考査範囲)を扱います。

翌12月1日(日)は7:30～自習、講習は10:15～12:00で、白紙テスト・副詞/複合語/返読文字/句法①～⑤、「プログレス古典総演習」漢文11(後期中間考査範囲)を扱います。

裏面に、今後の予定を記しておきます。

特に、冬休み期間中(12/25,12/26,1/4,1/5)の講習は冬休み明けすぐの「生野ベーシックテスト」8割以上の合格点獲得に向けて「イクベ国語対策講習」を実施します。(下記「当面の予定」・裏面を参照)

◆ 当面の予定

- 11/29(金) 文理選択用紙提出締切(16:00)
- 30(土) 土曜学習日⑧(8:00～12:00)
休日自習/講習 12:00～16:00
- 12/1(日) 休日自習/講習 7:30～12:00
- 4(水) 60分授業
- 5(木) 後期中間考査(～12/11)
- 13(金) 人権講演会(校外)
- 17(火) 考査返却(午後)
- 23(月) 成績個票配付
- 24(火) [午前授業]・全校集会・大掃除
- 25(水) 休日自習/講習 12:00～16:00
- 26(木) 休日自習/講習 7:30～12:00
- 1/4(土) 休日自習/講習 12:00～16:00
- 5(日) 休日自習/講習 7:30～12:00
- 1/8(水) 生野ベーシックテスト